

2023年度 講師派遣活動記録

整理番号: 20230801

事業名	環境教育およびエコロジカルライフを実践するための講座開催事業
------------	--------------------------------

活動名	市民が出来るごみ減量の関するSDGs行動と市民行動の現状説明
------------	--------------------------------

担当者	高根 美保	主催団体	NPO法人エコライフはままつ
------------	-------	-------------	----------------

事業区分	講師派遣	事業サイクル	継続事業
-------------	------	---------------	------

活動の目的	市民のライフスタイル改革
--------------	--------------

実施内容	
活動日時	2023年8月1日(火) 13:30~15:00
活動場所	浜松市西部清掃工場 環境啓発施設「えこはま」
活動者名	高根美保
詳細	ごみを減らす ・ごみの意味と浜松市のごみの種類 ・他都市のごみの名称 ・SDGsとごみ ・3R行動と環境マークについて ・リサイクル行動 ・紙容器リサイクル事業説明 ・使用済ハブリシリサイクル事業説明 ・環境啓発施設「えこはま」リユース紹介

事業の成果	参加者 13名(自民党浜松) 配布物:ごみ減量リーフレット・スッキリエコ自慢冊子・2Rメモ帳・雑がみ啓発PP・雑がみ啓発マグネット・生ごみ水切り袋・紙容器リサイクル事業チラシ・回収袋 各24部 <質疑> 古紙リサイクル:①油や臭いの付いた容器はなぜ出せないのか? ②水にぬれたものは出してはいけないのか? 出すためにはどうしたら良いのか? 紙容器リサイクル:①出せる商品はどのような商品か?・区別が難しいのでは? ②紙容器をつぶさずに回収する理由は? ③各小学校に事前に依頼をしているのか? ④学校給食の紙ハック回収と同じシステムは、作れないのか? アルミ類のリサイクル:アルミ缶の出し方。行政回収のスチール缶の回収について 環境マーク:静岡県認定のリサイクルマークを知らない。 生ごみ減量:①水切りをすることが、ごみの減量になるのか? ②生ごみを乾かすだけで、ごみ減量の目標に地下ずく事が出来るのか? ③コンポストは、市民への啓発が必要では? 容器が高い。費用を抑えることは出来ないか? プラ容器:洗浄の状態 <参加者の感想> ・大変勉強になりました。 ・エンカル消費や、ごみ減量など学べました。 ・勉強になりました。今後とも市民の皆様の意識向上のため努めたいと思いました。 ・分別ゴミの事は、もっと詳しく知りたいです。結構、分別が分からなくなり、もえるごみにしてしまう人も多いと思います。 ・我が家では生ごみを敷地内に埋めてみよう、家族で話をしました。 ・意識を変えることが、一番難しいことですが、継続することが大切だと思っています。 ・我が家も昨年から雑がみのリサイクルを徹底しています。ヨーグルトも毎日食べていますので、紙カップのリサイクルに取り組んでいきたいと思っています。市民一人ひとりの意識改革に取り組んでいく必要があると思いました。 ・ごみ減量には心がけておりますが、改めてまだまだ頑張れると思いました。 ・普段からごみの減量には気をつけ、資源として出せるものは分別をしていましたが、まだまだ頑張って減らせそうです。ごみを資源に返そうという意識がごみ減量化に繋がるということを改めて感じました。
--------------	--

事業の課題	ごみの分別や減量については、正しい情報が伝わっていないことが分かった。 環境啓発施設の3R活動についても、中身までが伝わっていないことが分かった。
--------------	--

記録添付

